

第3回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

日 時	平成27年9月3日（木） 19:30～21:00
場 所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 奥田委員 足立委員 岡田委員 岩田委員 森委員 樋口委員 久納委員 船橋委員 汲田委員 浅野委員 (以上 11名)
欠席の委員	岩村副会長 葛谷委員 (以上 2名)
議事概要	① 会長あいさつ 資料作成が遅れ、本日は説明中心となるかと思うが、次回までに委員のみなさんからの意見をいただき、しっかりとした戦略を作り上げていきたい。本日は短い時間であるが、充実した審議を行いたいと考えているのでご協力をお願いしたい。 ② 町長あいさつ これまで2回の審議会でみなさんから意見をいただいたものを、人口ビジョン（案）や総合戦略（案）に反映させていただいた。事務局の不手際もあり、資料が当日配布となってしまったが、ご協力をいただいて総合戦略策定をまとめていただけるようご協力をいただきたい。 ③ 審議（検討・質疑応答等） 〔笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について〕 〈人口ビジョンについて〉 〈基本目標1「仕事をつくる」について〉 ○ 女性の就業推進の職場環境の整備とはどのような事業であるのか。 → 女性雇用促進環境整備支援事業により、更衣室や女性専用トイレの整備等に対する助成を想定している。 ○ 子どもの減少を防ぐために、住みやすく、安心して子どもをたくさん産める環境を整備してほしい。 ○ KPIの項目で「増加」となっているものがあるが、具体的な数値を設定するべきではないのか。 → 各種統計調査スケジュールの関係で「増加」という表現になったが、各KPIをできるかぎり数値化できるよう事務局で検討します。 ○ 町内の小規模事業者の経営支援や第二創業支援のため、町には創業支援事業計画が認定されるよう取り組んでいただきたい。 〈基本目標2「笠松に呼び込む」について〉 ○ 数値目標に転入者1,000人という基準値が出ているが、人口が横ばいということは転出者1,000人もいるということか。松枝地域はアパートや一戸建てが増えているが、おそらく笠松地域の人口が減っていると思われる。この笠松地域の人口減対策にポイントがあると思う。 → 人口ビジョン13ページの社会動態として、2013年に、転入1,098人、転出1,013人という実績である。 ○ 47ページに若者という言葉があるが、具体的にどの世代のことを言っているのか。 → 高校生、大学生、就職から間もない25歳くらいまでの年齢層を想定している。

〈基本目標3「人を育む」について〉

- 合計特殊出生率の関係で、県の総合戦略（案）概要に記載されている表記に倣い「結婚・出産は個人の考え方や価値観が尊重されることが前提です。・・・」という文言は町の戦略の中にも必要であると思われる。

→ 戦略中に記載します。

〈基本目標4「安心な暮らしをつくる」について〉

- ふれあいサロンやシルバー人材センターの記載については社協会長としてありがたい。高齢者の生きがいの創出のためにもぜひシルバーを使ってほしい。
- 基本目標3ひとを育む のところで、(1)-①子どもや母親の健康の確保、増進のKPIは不妊治療件数だけではなく、他の指標も加えるべきだと考える。(1)-④「生きる力」の育成について、各種検定支援事業についての指標を記載してはどうか。
- 25ページの町民意識調査について、重要課題のうち「防犯面」「生活コスト」の対策について総合戦略の中で記述がないように思うがどうか。

→ ご指摘いただいた点について、戦略の中に記載をして次回の審議会に提示させていただきたい。

- パブリックコメントについてはどうなっているか。

→ 9月4日から23日まで、ホームページと各公共施設においてパブリックコメントの実施を予定している。その意見を反映したものを次回の審議会に提示したいと考えている。

〔連絡事項について〕

本日の意見をまとめ、必要な見直しを行う。

次回審議会に向けた最終的な方針を出す前にパブリックコメントを実施したい。

意見があれば事務局までお願いしたい。

